

# *HEV / EV Market Report 2007*

# HEV/EV Market Outline

Hybrid Market は 2010 年 242 万台へ

## Hybrid Market に加えて EV Market に注目

順調な拡大を続けてきた Hybrid Market に加えて、国内においては、急速に Battery のみで走行する EV Market に対する注目が集まっている。

Hybrid Market のここ数年のワールドワイドでの Market 拡大は、Market に対して 2 つの変化を生み出した。ひとつは、Hybrid すなわち ICE (従来型の主に Gasoline を燃料とする内燃機関) に Electronics Motor を組み合わせたことで、自動車全般に大幅に採用されるようになった Power Electronics Technology である。さらにひとつは、Hybrid の技術革新によって急速に進む大容量 Battery Technology である。

Power Electronics の進展は、自動車における走行制御を Electronics 制御によって行おうとするもので、Fuel Economy を進める上で重要な技術となりつつある。

また、Battery Technology の進展は、あらたに Plug-in Hybrid の Concept を生みだし、各自動車 Maker における Plug-in Hybrid の開発を加速化させている。

Hybrid Market では、依然として Toyota が Market の主導的役割を担う。同社の CY2006 までの累計の Hybrid 出荷台数は 86.6 万台となり、CY2007 のワールドワイドの Hybrid 出荷台数は 44.2 万台が見込まれる。

同社は、今後数年以内に Lithium-ion Battery を Hybrid に搭載することを発表しており、Hybrid Technology のさらなる進展を目指している。また CY2020 には、Hybrid Technology を「標準装備」とすることで、Hybrid System による収益性を向上させることも公表している。

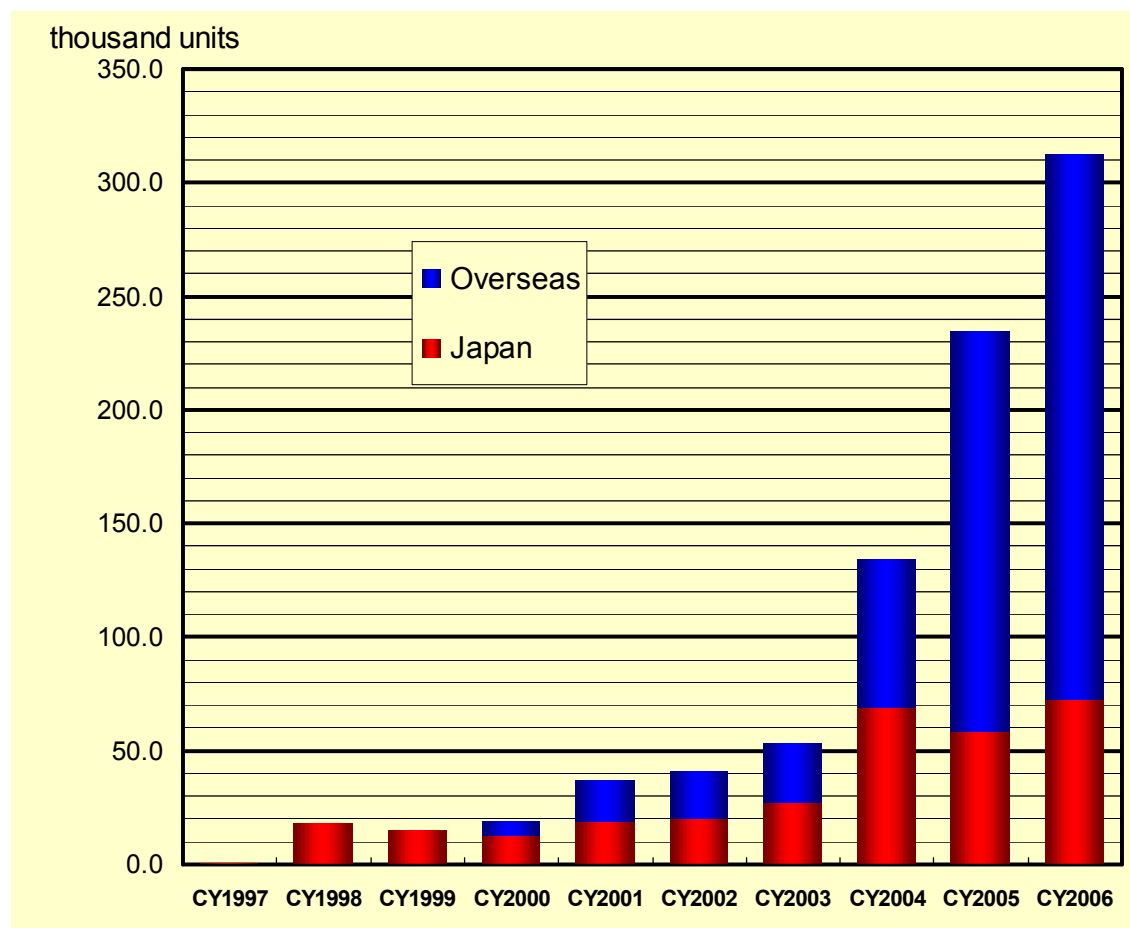
同社はさらに、Hybrid System の進化、発展形としての Plug-in Hybrid の開発にも着手している。この Plug-in Hybrid は、米国や欧州でその開発が進められてきたもので、Toyota がその開発に乗り出したことで注目が集まっている。

Plug-in Hybrid は、これまでの Hybrid 以上に電池による Motor 走行を延長し、Fuel Economy を進めるための技術であり、Battery 容量の大幅な拡大が必要となる。この Plug-in Hybrid において、大容量 Battery の搭載が不可欠であり、Lithium-ion Battery は、Plug-in Hybrid 実用化の最有力 Battery となっている。

一方、Hybrid では、Toyota 以外の Maker の取り組みも CY2007 以降には本格化する。すでに Toyota とは異なる方式の MILD-Hybrid で実績を上げてきた Honda では、CY2009 を目処に小型車での Hybrid 採用を目指している。ここで採用される Hybrid は、これまで Civic Hybrid で採用してきた MILD-Hybrid とはことなり、いわゆる Idling Stop を実現する MICRO-Hybrid となるとみられる。同社ではこの MICRO-Hybrid において Lithium-ion Battery の本格採用を行うとみられている。

Toyota との技術提携による Hybrid をすでに米国で発売している Nissan は、同社がこれまでこだわってきた Lithium-ion

Fig1 Toyota Hybrid Vehicle Sales ( by Toyota )



Battery を採用した独自 Hybrid の展開を想定している。Lithium-ion Battery を採用した Nissan 独自の Hybrid は、MILD-Hybrid 方式をとるものとみられる。

海外 Maker の Hybrid に対する取り組みは、国内 Maker と比べて遅い。しかし、Ford はすでに Toyota の FULL-Hybrid 技術を採用した Escape Hybrid を米国において展開している。ここで採用される FULL-Hybrid は、その他の車種への展開も進められておりすでに同社の Hybrid 累計販売台数は約 6.0 万台に達している。

GM では、CY2006 には、独自の MILD-Hybrid 方式の Hybrid を展開している。Saturn Vue Green Line Hybrid と呼ばれるこの Hybrid は、Idling Stop 機構が中心の Hybrid であるが、Motor Assist 機能もわずかにあり、本書では MILD-Hybrid に分類する。CY2007 には、同じ System を搭載する Saturn Aura Green Line Hybrid も発売している。

同社は今後の Hybrid 開発については 2 つの方向性を打ち出している。ひとつは DCX 及び BMW との共同開発を行っている FULL-Hybrid 方式を採用する Two-Mode-Hybrid で、同社では CY2007 に Two-Mode-Hybrid を採用した Chevrolet Tahoe Hybrid を発売する予定となっている。

さらに、CY2007 には、上海 Motor Show で、Plug-in Hybrid Concept Model を発表している。Plug-in Hybrid では Toyota などの先行 Maker はまだ実用化を実現しておらず、同社では特に米国で期待される Plug-in Hybrid Market では初の実用化に向けた取り組みを活発化させている。

欧州では、Hybrid に対する取り組みは、Diesel-Hybrid を中心として取り組みが先行している。PSA では、独自の Diesel-Hybrid System を発表しており、CY2009 の実用化を目指している。

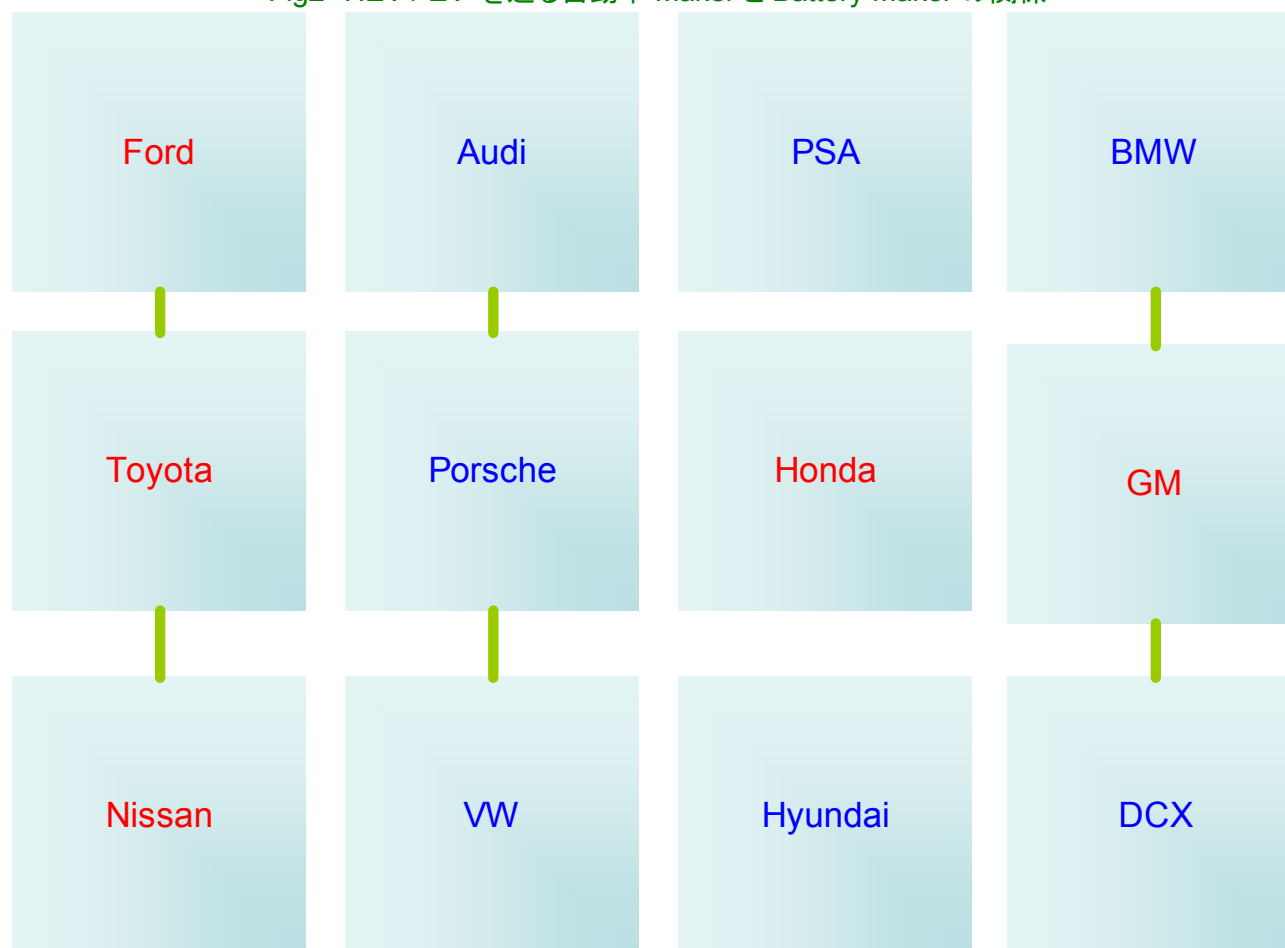
一方、BMW でも Hybrid の実用化に向けた取り組みが本格化しており CY2010 には同社初の Hybrid が市場に登場する見込みとなっている。ここで発売される Hybrid は、GM との共同開発によるものではなく、同社独自開発による MILD-Hybrid になるとみられる。

自動車 Market の拡大が著しい中国でも、中国 Maker による Hybrid 開発が進められている。Toyota と協力関係にある第一汽車では、独自の MILD-Hybrid の開発を進めており中国 Market への投入を想定している模様。また中国民族系企業である奇瑞汽車でも独自の Hybrid 開発を進めており CY2010 までの実用化を想定しているという。

日米欧中における Hybrid 開発とその実用化が進められる一方で、国内 Maker では、あらたに高性能化した Battery を使用した Battery EV の実用化が注目されてきた。

Subaru は、NEC-Lamilion-Energy と共同開発してきた Lithium-ion Battery を使用した小型 EV「EV R1e」の販売を CY2009 には行うことを発表しており、国内において本格的な Battery EV Market が立ち上がる見込みとなってきた。また Mitsubishimotors でも、CY2009 までの Battery EV 「iMiEV」の発売を表明しており、小型 Battery EV では、Subaru と Mitsubishimotors による Share 獲得競争が始まる。

Fig2 HEV / EV を巡る自動車 Maker と Battery Maker の関係



ここに来て Battery EV の実用化が想定されるようになったのは、Hybrid Market 拡大とともに進められてきた大容量 Battery 技術の進展がある。Hybrid Market では、Ni-MH Battery から Lithium-ion Battery への転換がすでに秒読み段階に入っており、Hybrid 向けの Lithium-ion Battery の実用化によって、Lithium-ion Battery の性能だけでなく、量産による Cost Reduction の可能性もでてきた。

このような、Hybrid における Ni-MH Battery から Lithium-ion Battery への移行、Battery EV の実用化といった技術革新に備え、自動車 Maker 各社と Battery Maker 各社との技術的な繋がりの強化が進められている。

Toyota は、Prius などの Hybrid 向けに Ni-MH Battery の供給を行っている Toyota と Panasonic との合弁による Panasonic-EV-Energy との Hybrid Battery の共同開発を進めている。

同社は Lithium-ion Battery については社内での開発と生産をすでに行っており、Vitz intelligent Package 向けに少量だが Lithium-ion Battery を生産している。今後は本格的な量産にむけて Panasonic-EV-Energy との Lithium-ion Battery における連携を強めるものとみられる。

Lithium-ion Battery の技術開発においては従来から先行してきた Nissan は、2007 年に NEC との合弁による自動車用 Lithium-ion Battery Maker AESC の設立を発表した。もともと同社は NEC のもつ薄型 Laminated Cell による Lithium-ion Battery の技術を活用した Lithium-ion Battery の開発を行っており、今後同社独自 Hybrid 展開において、AESC の

Lithium-ion Battery を採用していくことになる。

一方、CY2010 までの Battery EV の実用化を表明している Mitsubishi Motors では、GS-Yuasa と合弁で Lithium-ion Battery 量産のための新会社設立を発表、CY2010 には Lithium-ion Battery の量産を行うことを明らかにしている。

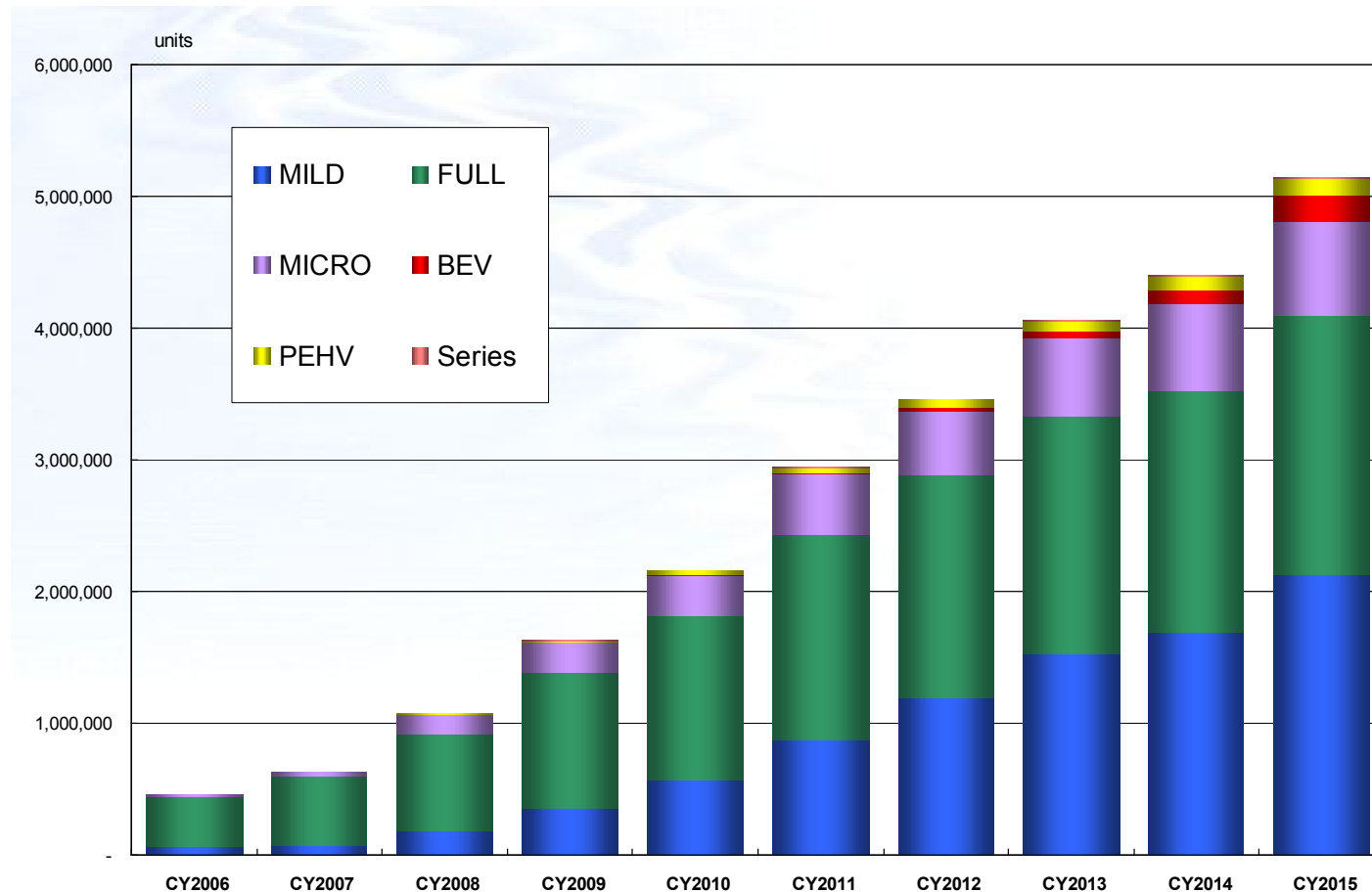
Hybrid 用の Battery では、Sanyo からの Ni-MH Battery 調達をうけている Honda も、Lithium-ion Battery の開発を進めており、今後の同社 Hybrid での Lithium-ion Battery 採用においても Sanyo との共同した取り組みが行われるとみられる。

米国における Hybrid Market の拡大を受けて、Hybrid の商品化と Share 確保を目指している GM では、Ni-MH Battery においては米国 Battery Maker Cobasys からの調達になるとみられるが、Plug-in Hybrid などでの採用可能性が高まる Lithium-ion Battery においては Cobasys、A123Systems との共同開発を行っている。

また GM / BMW との Two-Mode-Hybrid の共同開発を進めている DCX では、独 Battery Maker Saft との関係が強い。同社は Saft の Lithium-ion Battery を使用した Plug-in Hybrid の開発と実車による Fleet Test を行っている。

当面の Hybrid Market における注目点は、2007 から 2008 年に各社が予定している Hybrid 展開にある。Lithium-ion Battery 搭載や欧州 Maker の参入によって、Hybrid Market における各 Maker の本格的な技術開発競争と Share 争いは、主要 Maker の登場で本格化することになる。

Fig3 HEV / EV Market Forecasts ( Estimated by HIEDGE )



CY2010 に向けた HEV / EV Model は 80Model

Table 1 Hybrid Model Line-up (2007-2010) ( Estimated by HIEDGE )

1	Camry	41	Five Hundred
2	Hybrid X	42	Mercury Montego
3	Saturn VUE Hybrid	43	Edge Hybrid
4	Saturn Aura Hybrid	44	Lincoln MKX
5	Chevrolet Malibu	45	Fiesta
6	Escape	46	Tribute
7	MercedesBenz S-Class	47	Golf Eco Power
8	Highlander	48	Estima Hybrid
9	Civic	49	Vitz Idling Stop
10	Lexus RX 400h	50	Alphard
11	Lexus ES Hybrid	51	Citroën C4
12	Citroën C3	52	Peugeot 308
13	Infiniti G Hybrid	53	Koleos Hybrid
14	Accent Hybrid	54	Portico
15	Silverado /GMC Sierra	55	Rio Hybrid
16	Tahoe/GMC Yukon	56	Accord
17	Silverado /GMC Sierra (AHS II)	57	VUE Hybrid (PHEV)
18	Escalade	58	Mazda 5 RE Hybrid
19	Pontiac Grand (BAS)	59	Roewe 750 Hybrid
20	Chevrolet Blazer (BAS)	60	Crown
21	Chevrolet Suburban (AHS II)	61	Touareg Hybrid
22	GMC GRAPHYTE (AHS II)	62	Cayenne Hybrid
23	BioPower Hybrid Concept	63	Q7 Hybrid
24	Mercury Mariner Hybrid	64	X3 Hybrid
25	Fusion	65	Civic FIT
26	Mercury Milan Hybrid	66	Buick Riviera
27	Dodge Durango Hybrid	67	iMiEV
28	Chrysler Aspen Hybrid	68	Kangoo
29	Jiexun Hybrid	69	X5
30	Lexus GS450h	70	Zhonghua Zunchi Hybrid
31	Lexus IS Hybrid	71	EV R1e
32	Lexus LS600h	72	Cleanova
33	Corolla	73	Quick Delivery 200
34	RAV4	74	Kyron Hybrid
35	Legacy Hybrid	75	XC90
36	Altima	76	Chevrolet Volt
37	Getz Hybrid	77	Happy messenger
38	ECO Getz	78	Marindo Hybrid
39	CR-V	79	520 Hybrid
40	Opel Astra GTC	80	Flyer Hybrid S

# USA Market Outline

注目は Plug-in Hybrid と FULL-Hybrid

## USA Hybrid Market

Hybrid Market は、CY2004 以降、Market 拡大の中心は USA Market が中心の展開で推移してきた。とくに CY2005 以降は、米国が世界最大の Hybrid Market となっており CY2006 の Hybrid Market 全体の 77.0%は米国における Hybrid 需要によって占められている。

Toyota は米国 Market 専用の Hybrid として Cmary Hybrid を展開しているほか、CY2007 には Lexus LS600h を新たに投入する。Honda は、Accord Hybrid の新 Model 展開を中止するが Civic Hybrid では安定した実績を上げている。CY2007 に新規参入を果たした Nissan も一定の Share を確保する見通しとなっている。

GM は、CY2007 には Two-Mode-Hybrid による Chevrolet Tahoe Hybrid の展開で FULL-Hybrid 展開を図る。また BAS System として展開している Saturn Vue Green Line Hybrid では新たに Saturn Aura Green Line Hybrid の販売を開始している。

米国における Hybrid Market においてその開発が期待されているのは、現行 Hybrid よりも Fuel Economy 性能を向上させる Plug-in Hybrid である。

DCX では、早い段階から Plug-in Hybrid の開発を行い、市場における Fleet Test を行っている。Doge Sprinter に搭載された Plug-in Hybrid は、現在 New York などでの Fleet Test を行っている。

さらに、GM では、Chevrolet Volt Concept で Plug-in Hybrid Model を発表している。同社では、Toyota の THS に対抗する FULL-Hybrid System として Two-Mode-Hybrid の開発を進めているが、この Plug-in Hybrid では、大容量の Lithium-ion Battery の使用を前提とした Series Hybrid 方式を採っている。

また、Ford でも Plug-in Hybrid の開発を進めており、Concept「Airstream」を発表している。

このように Plug-in Hybrid に対する期待が高まってきた背景には、Lithium-ion Battery の実用化に目処がついたことが挙げられる。現在の Lithium-ion Battery の開発はすでに第二ステージに突入しており、新たに LiFePO4 系の正極材などを利用した開発が行われている。今後は日米の自動車 Maker がこの Plug-in Hybrid 用の Battery 開発で互いに鎬を削ることになる。

Table 2 USA HEV/EV Market Line-up (2007-2015) ( Estimated by HIEDGE )

Chrysler Aspen Hybrid	Edge	Lexus GS450h
Accent	Enova/Mack Hybrid Bus	Lexus IS Hybrid
Accord	Escalade	Lexus LS600h
Airstream Concept	Escape	Lexus NEW
Altima	Five Hundred	Lexus RX 400h
Azure Dynamics Hybrid Bus	FTX	Lincoln MKX
Camry	Fusion	MAN Hybrid Truck
Chevrolet Blazer (BAS)	GM Hybrid Bus	Mazda 5 RE Hybrid
Chevrolet Malibu (BAS)	GMC GRAPHYTE (AHS II)	Mercury Mariner Hybrid
Chevrolet Silverado/GMC Sierra (AHS II)	Happy messenger	Mercury Milan Hybrid
Chevrolet Silverado /GMC Sierra (FAS)	Highlander	Mercury Montego
Chevrolet Suburban (AHS II)	Honda EV	Plug-in Prius
Chevrolet Tahoe/GMC Yukon (AHS II)	Honda NEW Model	Pontiac Grand (BAS)
Chevrolet Volt Concept	Honda NEW Model(L)	Prius
Civic	Hybrid X	Saturn Aura Hybrid (BAS)
Civic FIT	Infiniti G Hybrid	Saturn VUE Hybrid (BAS)
DCX Orion Bus	ISE Research Hybrid Bus	Saturn VUE Hybrid (PHEV)
Dodge Durango Hybrid	Legacy Hybrid	School Bus Hybrid
Eaton Hybrid Bus	Lexus ES Hybrid	Spring

HIEDGE REPORT H0703

# Euro Market Outline

Diesel-Hybrid 実用化へ

## Euro Market では特異な Hybrid Market 展開

USA Market と比べて、欧州における Hybrid Market は異なる展開を見せている。Toyota、Honda の Hybrid Model の販売台数は USA ほどには拡大していない。

ただ、欧州 Market においても環境問題に対する意識は高く、Hybrid がまったく受け入れられていないというわけでない。また主要な欧州自動車 Maker でも、先進的な Hybrid Model の開発を行ってその発表を行っている。

PSA では、Diesel-Hybrid の開発を進めて、CY2009 の実用化を目指している。また同社は Concept Model として Plug-in Hybrid の開発も行っている。

VW、Porsche、Audi は、3 社共同で Hybrid Model の開発を行っておりすでに複数の Hybrid Model を発表しており、CY2008 頃の実用化を想定して取り組みを行っている。

BMW では、Double Layer Capacitors を使用した Hybrid Model の開発を行っているほか、GM、DCX と共同で GM の開発している Two-Mode-Hybrid System の開発に取り組む。Mercedes-Benz では、独自の Hybrid 機構による Mercedes-Benz S-class Model での Hybrid 開発を進めており CY2008 の販売を予定している。

米国で注目される Plug-in Hybrid に対しては、Renault が CY203 に限定的ながら Kangoo Plug-in Hybrid を販売している。ここで開発された Plug-in Hybrid Model はその後、Dassault Group の SVE が商業化を目指しており今後の展開が注目されている。

欧州における自動車 Market は、Diesel Engine の採用比率が高く USA Market とは異なる特徴をもっている。また、42V Pb-Acid Battery を使用した Idling Stop 機構をもつ MICRO-Hybrid の考え方が提案されたのは欧州であり、環境意識の高さでは現在の USA より先行している。

このため、欧州における Hybrid Market の今後の拡大においても、Diesel を基本とした Hybrid 機構をもつ Diesel-Hybrid の普及に期待がかかっている。

欧州 Maker ではいずれも CY2008 頃をターゲットとした MILD-Hybrid の展開を想定しており他の地域と比較して MILD-Hybrid での市場形成の可能性が高い。これは主に Diesel Vehicle の普及により、Hybrid が相対的に高くなってしまったためである。このため当面の欧州 Maker における初期の Hybrid 展開では、比較的価格が高い SUV や高級車での Model 展開が目立っている。

また欧州では、MILD-Hybrid においても EV Drive が可能な Model が多いことも大きな特徴になっている。

CY2008 にはほぼ欧州 Maker 各社の Hybrid Model が Market に出揃うことになる。この時点から欧州では Hybrid Market の拡大が始まるとみられる。

Table 3 Euro HEV/EV Market Line-up (2007-2015) ( Estimated by HIEDGE )

Berlingo	Lexus LS600h
BioPower Hybrid Concept	Lexus NEW
Cayenne Hybrid	Lexus RX 400h
Citroën C3	MercedesBenz S-Class
Citroën C4	Opel Astra GTC
Citroen C-Metisse	Peugeot 308
Civic	Plug-in Prius
Civic FIT	Prius
Cleanova	Q7 Hybrid
e-com	Touareg Hybrid
Fiat Multipla Hybrid	Toyota MILD
Fiesta	Vision GST
Golf Eco Power	Vitz Idling Stop
Honda EV	X3
Honda NEW Model	X5
Honda NEW Model (L)	XC90
Hybrid X	
Kangoo	
Koleos Hybrid	
Lexus ES Hybrid	
Lexus GS450h	
Lexus IS Hybrid	

## China Market Outline

### 中国メーカーの Hybrid 展開

#### 立ち上がるか Hybrid China Market

中国における自動車 Market の拡大に伴って、中国においても Toyota を中心とした Hybrid 展開が始められている。

Toyota は、同社と中国の自動車トップメーカー第一汽車 (FAW) による合弁豊田第一汽車の長春工場において Hybrid Prius の生産を開始、販売を始めている。

また、Honda は、東風汽車との合弁企業東風 Honda から Civic Hybrid の販売を予定しており、Civic Hybrid の中国での生産も検討、今後の Market 拡大が期待できれば本格的な中国 Market への Hybrid 展開を想定している。

中国自動車 Market はここ数年急激な拡大をみせており、CY2006 の中国自動車販売台数は、691 万台となっている。また極めて多くの自動車 Maker が中国において自動車生産を行っているのが中国の大きな特徴となっており、中国国内には 200 社を超える自動車 Maker がある。

日本の自動車 Maker と中国自動車 Maker の合弁企業が Hybrid 展開を行うとともに、中国自動車 Maker も世界的な Hybrid Market の拡大を受けて独自に Hybrid を開発する取り組みも顕在化している。

第一汽車は、MILD-Hybrid Type の CA7150N の開発を発表し CY2010 までの生産を表明している。

上海汽車 (SAIC) では、ROewe750 を開発して CY2008 には 100 万台規模の生産を開始し CY2010 には 1 万台の生産を行うとしている。

東風汽車 (DFW) でも Sedan type の ISG 型の MICRO-Hybrid の開発を行っている。長安自動車 (Changan) では、独自開発による ISG Type の MILD-Hybrid を開発して公表している。Battery は、Ni-MH Battery を使用しているという。同社では、CY2010 には年間 5 万台の生産を行うと発表しており注目されている。

これ以外にも多くの Maker が独自の Hybrid や Battery EV の開発を行っている。中国では、さまざまな自動車が行き交っており、その意味ではどの Maker がどのような Battery EV や Hybrid を生産していてもおかしくない。その点では今後の中国 Market では思わぬ市場の発展の可能性もあるかもしれない。

このようなことを期待してか、外資系 Maker も多く中国 Market に Hybrid 展開を行う。VW では Touareg Hybrid を中国で生産・販売する計画といい、また GM も国内で展開している BAS System を搭載するとみられる Buick Riviera を発表している。

しかし、中国では、ようやくサラリーマンが自動車を買えるマイカー時代が訪れた段階で、Hybrid であることの merit をどのように訴求すべきかはまだ手探りの状態ともいえ、HEV/EV Market が本格的な拡大の時期をむかえるのにはまだ時間がかかるとみられる。中国での生産を開始している Toyota の Prius も当初の販売計画を大幅に下回っているという報道もある。

Table 4 China HEV/EV Market Line-up (2007-2015) ( Estimated by HIEDGE )

Model	Lexus IS Hybrid
520 Hybrid	Lexus LS600h
A5 ISG	Lexus RX 400h
Buick Riviera	Marindo Hybrid
Civic	Prius
EQ7200HEV	Roewe 750 Hybrid
Flyer Hybrid S	S3X
Happy messenger	Zhonghua Zunchi Hybrid
Hybrid Bus	NEXT LexusGS450h
Hybrid CA7150N	
Hybrid X	
Jiexun Hybrid	
Lexus ES Hybrid	
Lexus GS450h	

## Domestic Market Outline

### 立ち上がる BEV Market と Lithium-ion Battery

#### Hybrid Market に加えて EV Market に注目

国内における新規の Hybrid Model の展開は、Toyota の Lexus LS600h や Mitsubishi Fuso の Canter Eco Hybrid などがあるが、以前ほどには話題にはなりにくく、自動車 Maker も Hybrid の Market の中心は米国にあるため、国内での展開を行わないケースもでてきている (Toyota の Cmary Hybrid や Nissan の Altima Hybrid、Honda の Accord など)。

このため、欧州や米国に比べて Hybrid Market の成長性は国内においては、あまり高くはない。

しかし、Prius の Model の Model Change が CY2008 に予定され、Nissan も CY2009 以降には、独自 Hybrid の展開を国内においても行うとみられ、欧州や米国と同様に、CY2008 を中心として各 Maker の Line-up が増加するとみられる。

Toyota は、Lexus を中心とした展開をとっているが、Prius のような Hybrid 専用 Brand を立ち上げることを発表しており、また初の Lithium-ion Battery 搭載として期待される NEW Prius が CY2008 には登場するとみられる。

また、Honda は、小型車における Hybrid 開発を行っており、CY2009 には国内でも販売されるとみられる。

また Nissan は、CY2010 には Lithium-ion Battery 搭載の

Hybrid として Skyline を発売するとされ、3 大 Maker が登場することで Market が活性化するとみられる。

国内における期待は、Subaru と Mitsubishimotors が発表している Battery EV の動向である。

両者はともに 2010 年までの Battery EV の市販を発表しており、すでにそれぞれの Battery EV による電力会社における Fleet Test などを行っている。

Battery EV は、一充電走行距離が限定される欠点があるためこれまで市販されているのは、電動カートなど僅かである。

しかし、国内では、一日の走行距離が 100km という短距離使用の需要が多くあり、軽自動車の多くはそうのように使用されている。そして k100km 程度であれば可能となるような Lithium-ion Battery の技術革新も進んできており、さらに Lithium-ion Battery の Hybrid への採用で価格低減の可能性もでてきたことで、Battery EV の可能性が浮上している。

まだ、その市場形成には時間があり、また Lithium-ion Battery の安全性評価やその Cost Reduction の課題もあるが、Mitsubishimotors、Subaru という大手 Maker が Battery EV の Market に乗り出したことでその可能性が広がっている。

Battery の具体的な生産に向けた Battery Maker の設立などといった施策も進みつつあり、国内ではこの Battery EV Market の拡大が今後の大きな注目点になっているといえる。

HEV/EV の国内 Market では、少なくとも CY2010 までには多くの話題があり、Market は比較的安定した成長となるとみられる。

Table 5 Domestic HEV/EV Market Line-up (2007-2015) ( Estimated by HIEDGE )

Alphard	Hyper mini
Canter Hybrid Truck	iMiEV
Civic	Lexus ES Hybrid
Civic FIT	Lexus GS450h
Corolla	Lexus IS Hybrid
CT-MIEV	Lexus LS600h
e-com	Lexus NEW
ELF Hybrid Truck	Lexus RX 400h
Estima Hybrid	Mitsubishi Aerostar HEV
EV R1e	Plug-in Prius
Hijet Cargo Hybrid	Prius
Hino Bus	Quick Delivery 200
Hino Hybrid Truck	Skyline Hybrid
Honda EV	Toyota MILD
Honda NEW Model	Tribute
Honda NEW Model (L)	UD Capacitor Truck
Hybrid X	Vitz Idling Stop